

2025年6月5日

公益財団法人東京2025世界陸上財団

## 東京2025世界陸上までいよいよあと100日 メダル・メダルケースのデザイン発表について

今年9月13日に開幕する東京2025世界陸上まで、いよいよあと100日となりました。これを記念して、各種目で3位以内に入った選手に授与されるメダルが完成しましたので、お知らせします。

メダルのデザインは、「選手が手にしたいメダル」を開発方針の下に制作されました。中高生のジュニアアスリートからの声を参考にし、専門家や若手アスリートからなる選定委員会で意見を重ねながら制作したものです。また、メダルケースには、持続可能性の観点から、東京・多摩地域で育った木材（多摩産材）を使用しています。

東京2025世界陸上まで残り100日。東京2025世界陸上財団は、このメダルを目指して世界中から集まるトップアスリートたちが最高のパフォーマンスを発揮できる舞台を整え、陸上競技の感動と興奮を世界中に届けていきます。

なお、メダルとメダルケースは、6月6日から東京都庁第一本庁舎二階中央展示コーナーにおいて、展示を予定しています。

### 東京2025世界陸上メダル



WORLD ATHLETICS PARTNERS



## メダルデザイン

### ■ デザインコンセプト

表：枠を超える。ロゴのフレームを超えて、陸上トラックで表現された TYO（東京の都市コード）が伸びていき、外側の円弧により、全てが結ばれ、つながることを表しています。

裏：選手の氏名が刻印されることから、磨き加工により、選手の顔が映るようにし、「あなたの積み重ねた努力がメダルに届いた」と選手を主語として讃えるデザインとしています。



### ■ メダリストの刻印

メダルの裏面に、メダリストの氏名、国名（3文字表現）、競技種目名を刻印します。刻印は、国立競技場内で行われ、メダルセレモニーでは、メダリスト自身の情報が刻まれたメダルが授与されます。

## （参考）メダル開発プロセス

時期	取組
2024年7月～9月	<b>デザイン開発</b> 東京2025世界陸上ブランドディレクターが、ジュニアアスリートへのインタビューを行い、3つのメダルデザイン案を作成 <b>【インタビューの協力先】</b> ▶ 城西大学附属 城西中学・高等学校 ▶ 桐朋中学校・桐朋高等学校
9月25日	<b>メダルデザイン選定委員会</b> これから世界を目指す若いアスリートが選定に参画
メダルデザイン選定委員会終了後～	<b>製造</b>
2025年6月5日	<b>メダル・メダルケース デザイン発表</b>

## 東京 2025 世界陸上財団会長コメント

### ■ 尾縣 貢（おがた みつぎ） 東京 2025 世界陸上財団会長

記念すべき大会 100 日前にメダル及びメダルケースを発表することができ、とても嬉しく思います。メダルデザインの制作には、デザインの専門家の皆様、ジュニアアスリート、若手アスリートの皆様にご協力いただきました。また、メダルケースは持続可能性に配慮し、多摩産材を使用しています。大会ロゴに使われている陸上トラックのストライプが特徴的なメダル、メダルケースが、それを手にしたいと願うアスリートの力となること、そして、日本国内だけでなく世界中の人々に印象深いものとして記憶されることを願っています。

## 未来を担う子どもたちが世界陸上に参加する取組について

東京 2025 世界陸上財団では、メダルデザイン制作にあたり、ジュニアアスリートにインタビューを行いました。その声をご紹介します。

### ■ メダルにはどんな思いを込めたいですか？

- 世界平和
- 次の世代にもつながるような、子どもたちの希望
- 陸上競技の発展
- 陸上競技の素晴らしい歴史
- すべての選手に対する感謝、尊敬、祝福
- 栄光、勝利、憧れ
- メダリストの今までの努力を称える
- メダリストがこれからも陸上競技を続けていきたいという思い



インタビューの様子



インタビューの様子

### ■ あなただったら、どんなメダルがもらえたら嬉しいですか？

- 唯一無二の一生忘れられない特別なメダル
- 虹色にキラキラしていて、鏡のように美しく光り輝く豪華なメダル
- 王者感がある、カッコいいメダル
- デザインの意味が分かるような、ロゴが中心に描かれた迫力のあるメダル
- 過去にも未来にもないような、新しさと伝統を感じる面白いメダル
- 開催地である日本・東京を象徴するメダル
- 触って気持ちがいい、感動が続き飾りたくなるメダル
- 勝利や努力が刻まれ、自慢したくなるメダル

## メダルデザイン選定委員コメント

### ■ 委員長

松崎 元 (まつざき げん) 千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科 教授／プロダクトデザイナー



国立競技場を脇に眺めて歩きながら、アスリートのように気持ちを高めつつ選定会場へ入りました。提示された3案は、それぞれにデザイナーの技術と想い、日本や東京を感じられる作品で、いずれも完成度の高いものでした。大会や競技に対する委員それぞれの想いが交わされ、立体模型を見ながら意見交換をした結果、委員会の総意として納得できる選定となりました。大会の盛り上がり期待が膨らむ大変貴重な機会となりました。

### ■ 委員

安積 伸 (あづみ しん) 法政大学 デザイン工学部 システムデザイン学科 教授／プロダクトデザイナー



アスリートが努力の結果掴み取る賞の価値を象徴し、気高く唯一無二のものである事。また日本の首都東京で行われる大会のホスト側の文化・感性・知性を感じさせるものであって欲しいと考えました。選択されたデザインは、象徴的な図案とイメージの広がり美しく、離れた所から見ても明快でメディア映えのするものだと考えます。現役アスリート諸氏と共に審査を行い、確かな価値を持つデザイン案である事を確認する事が出来ました。

玉井 美由紀 (たまい みゆき) 株式会社 FEEL GOOD CREATION 代表取締役／CMF デザイナー、CMF クリエイティブディレクター



世界最高峰の陸上世界大会が東京で開催されるという事でメダリストには特に思い出深いものになってもらいたいと、メダルの審査を行いました。審査は私たちのようなデザインの専門家と陸上選手の合同で行われたため、大会に掛ける選手の想いを共有しながら審査ができた事にも大きな意味があったと感じています。直線と円という最小限の要素で構成された日本らしいロゴデザインをベースに選ばれたメダルデザインはモチーフを揃え、立体的に表現される事で、精緻でありながら力強さも感じられるものとなっています。実際のメダル化の際に困難となりそうな細かい溝なども日本の加工技術で美しく表現されることを想像し、デザインが決定しました。

梅野 倭子 (うめの ゆきこ) 陸上競歩選手/ 株式会社 LOCOK 所属 (委員会実施時：順天堂大学)



東京世界陸上のメダルデザイン選定に参加して、3つの中から1番良いメダルのデザインを選ぶことができたのではないかと思います。実際にメダルのデザインを選ぶことで、世界陸上に向けてより努力していこう、自分で選んだデザインのメダルを取りに行こうという気持ちが強くなりました。他大学の方、デザイナーの方と多く言葉を交わし、様々な意見を聞く中で選ぶことができたので一生に一度のとても良い経験になりました。

北田 琉偉オスカー誠治郎（きただ るいおすかーせいじろう）陸上棒高跳選手 / 日本体育大学



このたびメダルデザイン選定委員会に参加できたことを、心から光栄に感じています。どの案にも想いや工夫が込められていて、選ぶのは本当に悩みました。それでも、大会の想いを多くの人に伝えられるデザインを、と願いを込めて選びました。

齋藤 真希（さいとう まき）陸上円盤投選手 / 太平電業株式会社所属（委員会実施時：東海大学大学院）



この度は、メダル選定委員に選んでいただきありがとうございます。東京世界陸上のメダルのデザインを選ぶことに携われることを光栄に思います。私自身も東京世界陸上を目標としています。選んだメダルをとりにつけるように精一杯頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

三輪 颯太（みわ そうた）陸上短距離選手 / 委員会実施時：慶應義塾大学



東京 2025 世界陸上のメダルデザイン選定委員として、選手の視点から選考に携われたことに深く感謝しています。選考では、受け取った選手が誇りに思えるデザイン、そして東京ならではのデザインであることを最優先に考えました。大学時代に部活の広報で、SNS 投稿の作成経験なども活かし、誰もが手にしたくなるメダルを選べたと自負しています。このメダルが、選手たちの努力と情熱を象徴するものとなることを願っています。



メダルデザイン選定委員会の様子



メダルデザイン選定委員会の皆さん

## 東京 2025 世界陸上財団（デザイン制作者）コメント

中川 亮（なかがわりょう）東京 2025 世界陸上財団ブランドディレクター

今回の選定委員会にはデザインした 10 案のメダルから議論を経て選ばれた 3 案をもって挑みました。ロゴをデザインした時から僕の中には、東京 2025 世界陸上がどのような大会となって欲しい、すべてが東京を表現するような美しいデザインであって欲しいというイメージと想いがありました。今回選ばれたデザインは間違いなくそれらが一本の線に結ばれていて東京大会を象徴する美しいものであると確信しています。

熱い想いを持って真摯に選定に向き合っていたいただいた現役アスリートの皆様、デザインの専門家の皆様に感謝いたします。

## メダルケース

多摩産のスギ、ヒノキ、ケヤキ、サクラを使用して 8 本のストライプでデザインされています。このストライプは、大会ロゴともつながりのある陸上トラックをイメージしています。ケースの表面には、大会ロゴが焼印で施されており、ケースを開けるとメダリストを称えるメッセージが添えられています。



メダルケース表面



メダルケースを開いたときの様子

## メダルプラザ

選手にメダルを授与するメダルセレモニーは、国立競技場の南側外構部に設置するメダルプラザで実施します。

メダルプラザのデザインは、国立競技場と親和性のある木目を基調とする予定です。観客はメダリストを間近で観覧、祝福することができ、メダリストにとっても深く記憶に残るセレモニーとなるよう計画しています。

メダルセレモニーは、最終日などを除き、決勝翌日のイブニングセッション前に実施する予定で、スケジュールは決定次第お知らせします。



## メイキングムービー

メダルとメダルケースのデザイン発表を記念し、製造工程を紹介するメイキングムービーを公開します。



- 東京 2025 世界陸上メダル完成！メイキングムービー  
<https://youtu.be/9XCuBWzbP5c>
- 東京 2025 世界陸上メダルケース完成！メイキングムービー  
<https://youtu.be/kYpLUmMOZSQ>



### ■ 素材ダウンロード

素材ダウンロード

メダル及びメダルケースのデータは以下の URL からダウンロードできます。

2025年6月26日（木）17時まで <https://bit.ly/4dFkbOa>

※ 本素材は報道機関による報道目的（番組内での使用、新聞・雑誌、インターネット記事等へ使用）で図を改変しない場合に、ご使用いただけます。使用する場合は「©WCH Tokyo 25」のクレジットを記載してください。報道目的であっても、自社のプロモーション目的や事業用に使用することはできません。

## 本プレスに関する問い合わせ

公益財団法人東京 2025 世界陸上財団 広報担当

E-mail : [press@WATokyo25.com](mailto:press@WATokyo25.com)

### 東京 2025 世界陸上公式サイトはこちら

WEB <https://worldathletics.org/jp/competitions/world-athletics-championships/tokyo25>

X <https://twitter.com/WATokyo25>

Instagram <https://www.instagram.com/wchtokyo25/>

YouTube [www.youtube.com/@WATokyo25](http://www.youtube.com/@WATokyo25)



WEB



X



Instagram



YouTube

### ■ 東京 2025 世界陸上チケット好評発売中！

「世界一」、「世界最高」を国立競技場で体感しよう！

<https://tokyo25-lp.pia.jp/index.html>



Ticket Information Site

### 東京 2025 世界陸上競技選手権大会の概要

主催	ワールドアスレティックス（WA、世界陸連）
大会期間	2025年9月13日（土）から21日（日）まで 9日間
会場	国立競技場ほか（マラソン、競歩は都内で実施）
参加選手数	約2,000名
参加国・地域数	約200カ国・地域
種目数	49種目

WORLD ATHLETICS PARTNERS

